

科目コード	N118
授業科目名	看護学概論
授業科目名(英文)	Introduction to Nursing
講義室等	6107
学科	看護学科
対象学年	1年
開講学期	前学期
必修・選択の別	必修
単位数	1
時間数	30
該当ディプロマ	◎看DP-2
該当コンピテンス	◎看CP-3、○看CP-5、△看CP-9
学科	
対象学年	
開講学期	
必修・選択の別	
単位数	
時間数	
該当ディプロマ	
該当コンピテンス	
担当教員	立石 和子
授業の概要	看護学の歴史的発展から看護の本質を理解するとともに、看護実践の基礎となる看護の対象、看護活動の場の特性と役割、機能、保健・医療・福祉における看護の役割を学ぶ。「看護とは? 専門職とは?」について意見交換を行い、学修の動機付けとなるようにグループワークを行い、看護に対する考えを深める。
授業の到達目標 (学修効果)	1. 看護の歴史を説明できる。 2. 看護の対象である人間について述べるができる。 3. 人間と環境の関係を説明できる。 4. 看護の役割や現代社会における看護活動の場の特性と役割、機能を説明できる。 5. 看護実践に関連する倫理規定等を基盤とした看護専門職としてのあり方の基礎的考え方を説明できる。
予習復習の所要時間	講義時間30時間(2時間×1コマ×15回)+予習・復習15時間
成績評価方法	筆記試験(70%)、レポート点(20%)、グループ発表(10%)を総合して60点以上を合格とする。
教科書	看護学原論 改訂第3版 看護の本質的理解と創造性を育むために 高橋照子編集 南江堂 2020年 978-4-524-24992-3 看護覚え書きー本当の看護とそうでない看護ー フロレンス・ナイティンゲール著 小玉香津子・尾田葉子 訳 日本看護協会出版会 2019年 978-4-8180-2214-0 看護の基本となるもの ヴァージニア・ヘンダーソン著 湯楨ます・小玉香津子 訳 日本看護協会出版会 2016年 978-4-8180-1996-6
参考書	適宜紹介する
その他	

非常勤講師(学内：1 学外：2)

回	年月日	曜日	時限	授業項目	授業の形態	講師	非常勤	備考
1	R6.4.11	木	Ⅲ	看護とは	講義・グループワーク	立石 和子		
				予習 教科書p1～8の精読				
2	R6.4.18	木	Ⅲ	看護の歴史の変遷	講義	立石 和子		
				予習 教科書p9～30の精読				
3	R6.4.25	木	Ⅲ	看護の対象理解、ライフサイクルと健康	講義・グループワーク	立石 和子		
				予習 教科書p31～57の精読				
4	R6.5.7	火	Ⅳ	ナイチンゲール「看護覚え書き」、ハンダーソン「看護の基本となるもの」	グループワーク・発表	立石 和子		
				予習 看護覚え書、看護の基本となるもの精読				
5	R6.5.9	木	Ⅲ	人と環境	講義	立石 和子		
				予習 教科書p68～92の精読				
6	R6.5.16	木	Ⅲ	看護実践の基盤	講義・グループワーク	立石 和子		
				予習 教科書p93～115の精読				
7	R6.5.23	木	Ⅲ	看護と保健・医療・福祉との連携	講義	立石 和子		
				予習 教科書p116～137の精読				
8	R6.5.30	木	Ⅲ	看護と法律・看護制度・看護行政	講義	立石 和子		
				予習 教科書p169～183の精読				
9	R6.6.6	木	Ⅲ	医療安全	講義・グループワーク	立石 和子		
				予習 教科書p130～137の精読				
10	R6.6.13	木	Ⅲ	看護の専門性	講義・グループワーク	立石 和子		
				予習 教科書p106～115の精読				
11	R6.6.20	木	Ⅲ	看護実践と理論、ハンダーソン	講義・グループワーク	立石 和子		
				予習 教科書p185～202の精読、ハンダーソンの精読				
12	R6.6.27	木	Ⅲ	看護実践と理論	講義	立石 和子		
				予習 教科書p149～168の精読				
13	R6.7.4	木	Ⅲ	看護の国際化・災害と看護	講義・グループワーク	立石 和子		
				予習 教科書p62～66の精読				
14	R6.7.11	木	Ⅲ	これからの看護	グループワーク	立石 和子		
				予習 グループワークの準備				
15	R6.7.18	木	Ⅲ	看護の展望と課題	発表	立石 和子		
				予習 グループワークの準備				
				復習 レポート作成				